

献呈の辞

中川和彦先生は、平成一三年八月七日にめでたく古稀を迎えられ、翌年三月三十一日にご定年で本学を退職されました。

中川先生は、昭和三七年に一橋大学大学院法学研究科博士課程を修了されて、同三九年に成城大学経済学部専任講師に就任され、同四八年に教授に昇任しておられました。

成城大学法学部は昭和五二年に、大学院法学研究科は同六二年に開設されましたが、中川先生はその設置準備の中心メンバーとして尽力されました。そして、第三代法学部長、初代法学研究科長として、本学部と研究科の発展に献身されました。平成一四年四月には本学名誉教授の称号を授与されております。

中川先生の研究分野は、ラテン・アメリカ法ですが、とくにラテン・アメリカ諸国の商事法、経済法に関する研究で学界に貢献されてこられました。

今、本学部は、法科大学院の開設、コース制の導入などの準備を進めています。中川先生には、今後とも一層のお力添えをお願いしたいと存じております。

中川先生への感謝のしるしとして、成城法学七〇号を古稀祝賀記念号とさせていただきます。次第です。

平成一五年六月

成城大学法学部長

大 沼 邦 弘

中華の歴史

中華の歴史は、古くは、殷周の時代から始まり、春秋戦国時代を経て、秦漢の統一王朝が築かれた。その後の歴史は、南北朝、隋、唐、宋、元、明、清の各王朝を経て、近代に至る。

本誌の歴史は、中華の歴史の概略を述べ、その発展の過程を明らかにする。また、中華の文化、政治、経済の発展についても詳しく述べる。

中華の歴史は、長い間、封建制度の下で進歩してきた。しかし、近代以降、西洋列強の侵入により、中華は半植民地化を遂げた。この歴史は、中華の民族意識を高め、近代化の道を歩かせることになった。

中華の歴史は、常に進歩と革新の道を進んできた。その歴史は、中華の民族意識を高め、近代化の道を歩かせることになった。その歴史は、中華の民族意識を高め、近代化の道を歩かせることになった。

中華の歴史は、常に進歩と革新の道を進んできた。その歴史は、中華の民族意識を高め、近代化の道を歩かせることになった。その歴史は、中華の民族意識を高め、近代化の道を歩かせることになった。

中華の歴史は、常に進歩と革新の道を進んできた。その歴史は、中華の民族意識を高め、近代化の道を歩かせることになった。その歴史は、中華の民族意識を高め、近代化の道を歩かせることになった。

中華の歴史